

## 宮沢賢治没後90年特別企画 「チェロでつづる宮沢賢治の世界」を開催します

宮沢賢治没後90年を記念し、幅広い世代の花巻市民が宮沢賢治の世界に触れられるイベントを開催します。宮沢賢治記念館に展示している賢治愛用のチェロは、これまでも数度演奏に使用され、馬友友（ヨーヨーマ）、藤原真理といった世界的チェリストが手にしています。今回のメインイベントとしては没後90年を記念し、世界的にも著名で新進気鋭の若手チェリスト、宮田大（みやた だい）を花巻に招き、賢治のチェロを実際に演奏、披露します。

### 日程、応募方法等

- 開催日時：令和5年11月25日（土）14:00開演
- 会場：花巻市文化会館 大ホール
- 定員：800名 ※定員を超える応募があった場合は抽選
- 入場料：無料
- 募集対象：市内在住の方（未就学児は入場できません）
- 応募方法：往復はがきに住所、氏名等の必要事項を記入し、ご応募ください。（1通につき4名まで申込可）※応募の宛先等、詳しくは「広報はなまき9月15日号」をご覧ください
- 募集期間：9月15日（金）～10月15日（日）必着  
※入場案内や抽選となった場合の抽選結果は、10月31日（火）までに発送します。

### プログラム

第1部（オープニング）	花巻市内の文化団体による朗読会またはコーラス（予定）	15分
第2部	宮田大（みやた だい） チェロリサイタル	30分
第3部	九十九太一（つくも たいち） 絵本・音楽プロジェクト「セロ弾きのゴーシュ」	30分
第4部（エンディング）	特別リサイタル 宮田大 賢治のチェロを奏でる	15分

#### 宮田 大（みやた だい）

2009年ロストロポーヴィチ国際チェロコンクールにおいて、日本人として初めて優勝。これまでに参加した全てのコンクールで優勝を果たしている。その圧倒的な演奏は、作曲家や共演者からの支持が厚く、世界的指揮者・小澤征爾にも絶賛され、日本を代表するチェリストとして国際的な活動を繰り広げている。スイスのジュネーヴ音楽院卒業、ドイツのクロンベルク・アカデミー修了。使用楽器は、上野製薬株式会社より貸与された1698年製A. ストラディヴァリウス“Cholmondeley”である。



#### 九十九太一（つくも たいち）

1988年スペイン、バルセロナ生まれ。チェリスト、作曲家。7歳からチェロを始め、15歳から作曲とチェロを両立させながらチェロ界の巨匠、マルサル・セルベーラ氏、エンリコ・ディンド氏らから指導を受け、2011年にバルセロナ・リセウ音楽大学チェロ科卒業。在学中、数多くのコンサートで活躍し、中でもバルセロナ日本総領事館主催の東日本大震災復興コンサートで演奏、多彩な響きで聴衆を魅了した。現在、世界的に活動し、2019年からエレキチェロによる新感覚の音楽エンターテインメントを発表している。2023年、宮沢賢治原作「セロ弾きのゴーシュ」をエレキチェロによるオリジナル独奏曲と映像作品により現代的かつ斬新な演出で展開されるデジタル紙芝居を発表。

